



岡崎市立六ツ美西部小学校 校長通信

校長室の窓から

～校訓 人に優しく 自分に強く～

4号

令和元年6月20日

六ツ美西部小学校長
山本 則夫

この夏は、涼しい環境で学習に集中！

～エアコン設置完了！～

東海地方も梅雨入りし、これからしばらくは、じめじめと蒸し暑い日が続きそうです。暑くなり始めの時期は、身体が慣れていないため、調子を崩しやすいものです。いつも以上に、お子さんの生活リズムや食事の内容に気を配り、体調が悪い時には、無理をせず早めに休養させてください。

そんな中、今週、本校も全ての普通教室と特別教室のエアコン設置が完了しました。普通教室は各1台ですが、最上階は屋根から熱が入り、室温が上昇しやすいため2台ずつ取り付けられています。職員室には各教室の室温や設定温度などを把握し、遠隔操作できるモニターもついています。



今週は、各教室で試運転を行います。昨日、6年生の算数の授業で、エアコンから出た冷たい風を浴びた子どもたちからは、「涼しい！」「気持ちいい！」と歓声が上がりました。

このエアコンの設置にあたり、岡崎市全体で設備費・維持管理費を含め約60億円の税金が投入されています。昨年の公立小中学校の普通教室への空調設置率は全国平均で49.6%にとどまっています。岡崎市のような中核市の規模で、ここまで早く全小中学校にエアコン完備した例は少ないです。今年の夏は、快適な環境で学習に集中できそうです。

その一方で、心配されるのがいわゆる「冷房病」です。教室にクーラーが完備され、室内と屋外の温度差が大きくなると、体調を崩す子どもが出るのが予想されます。6月末に出される市のエアコン運用指針案に従って、子どもたちの健康面を第一に考え、エアコンを稼働させていきます。

PTA 文化部講座も涼しい家庭科室で！

昨日、PTA 文化部講座「ハーバリウムづくり」が行われました。設置されたばかりのエアコンを運転させ、涼しい環境の中、たくさんの保護者の方が参加されました。夏にぴったりの涼しげな作品がいくつも完成しました。

